



Salesforce Lightning Experience 対応のご案内

平成 30 年 2 月 7 日

第 2 版

株式会社ソルクシーズ

Fleekdrive サポートデスク

目次

Salesforce Lightning Experience 対応のご案内	1
1 はじめに	3
2 Salesforce Lightning Experience に切り替える.....	3
3 Fleekdrive 関連リスト	5
3.1 Fleekdrive 関連リストを配置する.....	5
3.2 Fleekdrive 関連リストの配置場所が狭い場合.....	7

1 はじめに

平素は Fleekdrive をご利用いただきありがとうございます。

平成 29 年 12 月 30 日より、Fleekdrive が Salesforce Lightning Experience に対応いたしました。

Classic から Lightning Experience への切り替えをご希望の場合は次ページ以降の設定をご実施頂き、ご利用くださいますようお願い申し上げます。

2 Salesforce Lightning Experience に切り替える

本切り替えの設定は Lightning Experience に切り替えてから実施します。

Salesforce にログインし、自身のユーザ名をクリックし、「Lightning Experience に切り替え」メニューを選択します。

図 2-1 Salesforce Classic 画面

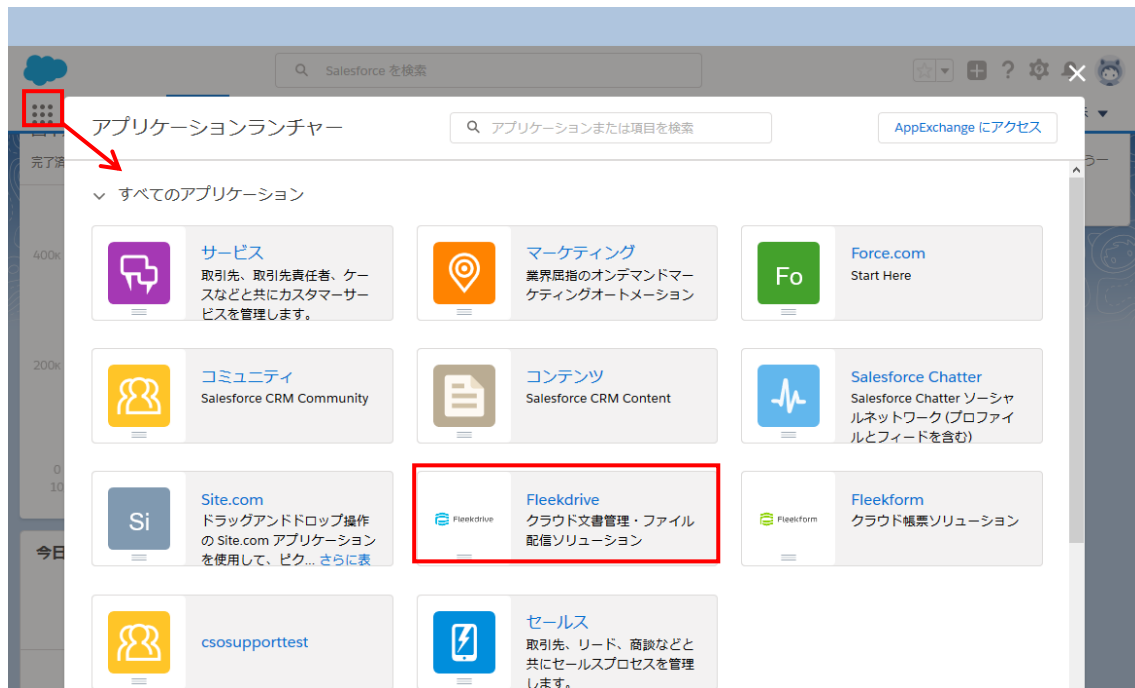


図 2-2 Lightning Experience 画面



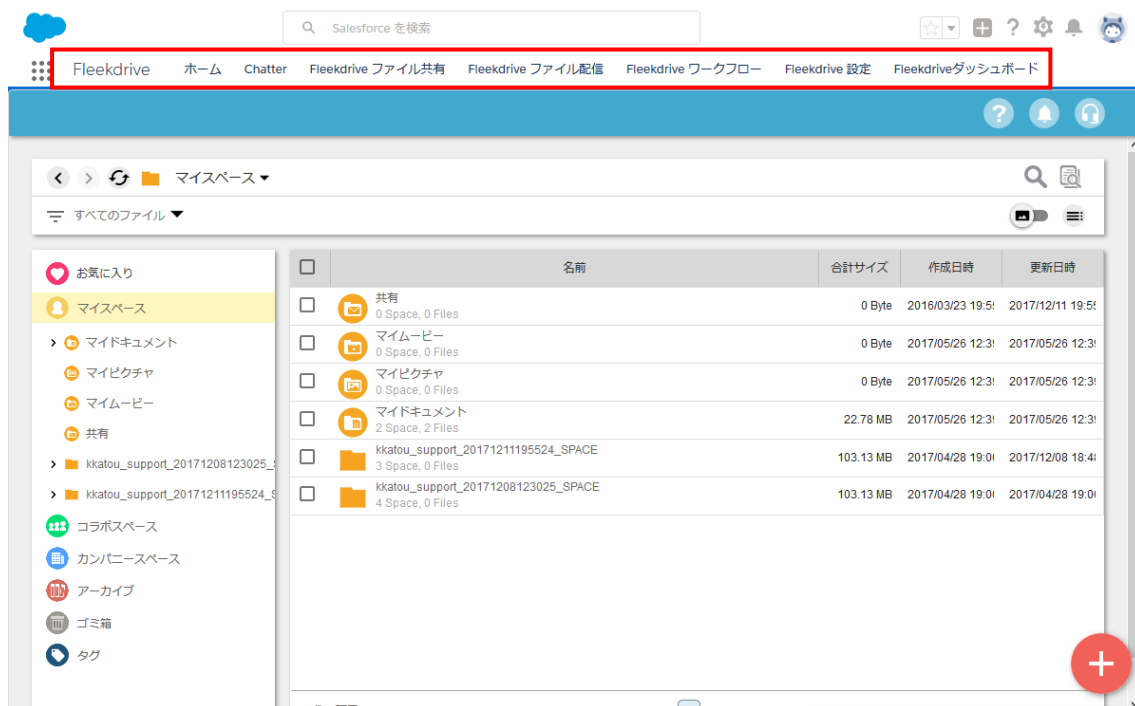
アプリケーションランチャーから、すべてのアプリケーション＞Fleekdrive を選択します。

図 2-3



Fleekdrive の各タブが表示されますので、Classic と同様にサービスをご利用いただけます。

図 2-4



3 Fleekdrive 関連リスト

3.1 Fleekdrive 関連リストを配置する

Classic にて既に Fleekdrive 関連リストを配置している場合は追加で設定することなくそのままご利用いただけます。

本章では、Lightning Experience で新規に Fleekdrive 関連リストを配置する手順をご案内します。

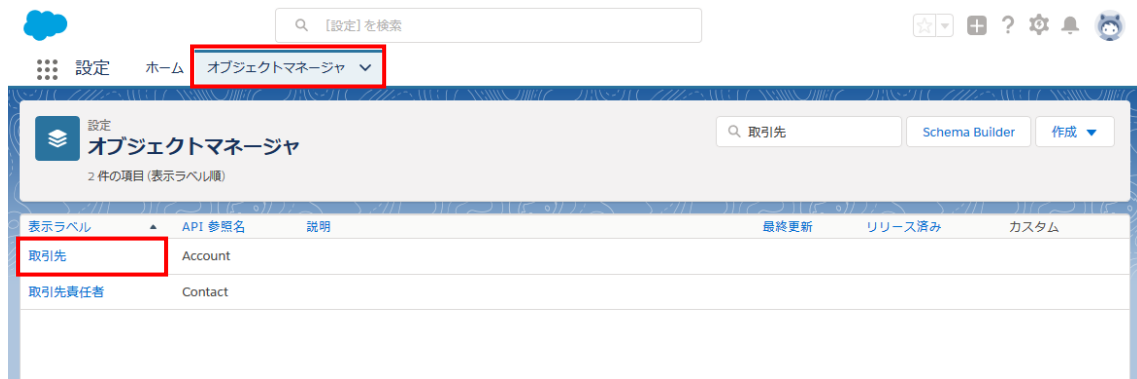
画面右上の設定メニューより設定画面を開きます。

図 3-1



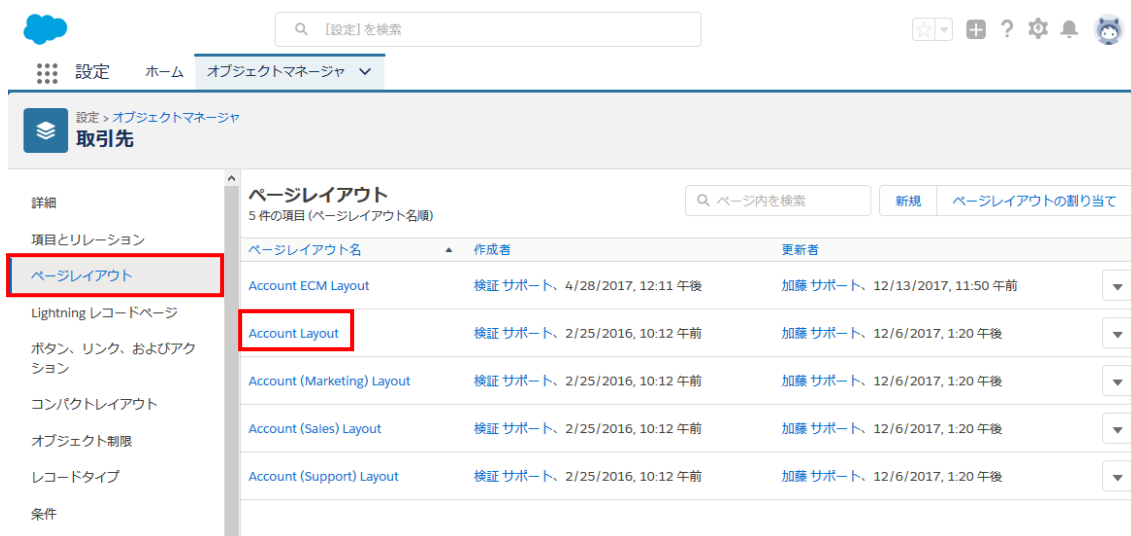
オブジェクトマネージャタブを選択し、Fleekdrive 関連リストを配置するオブジェクトを開きます。

図 3-2



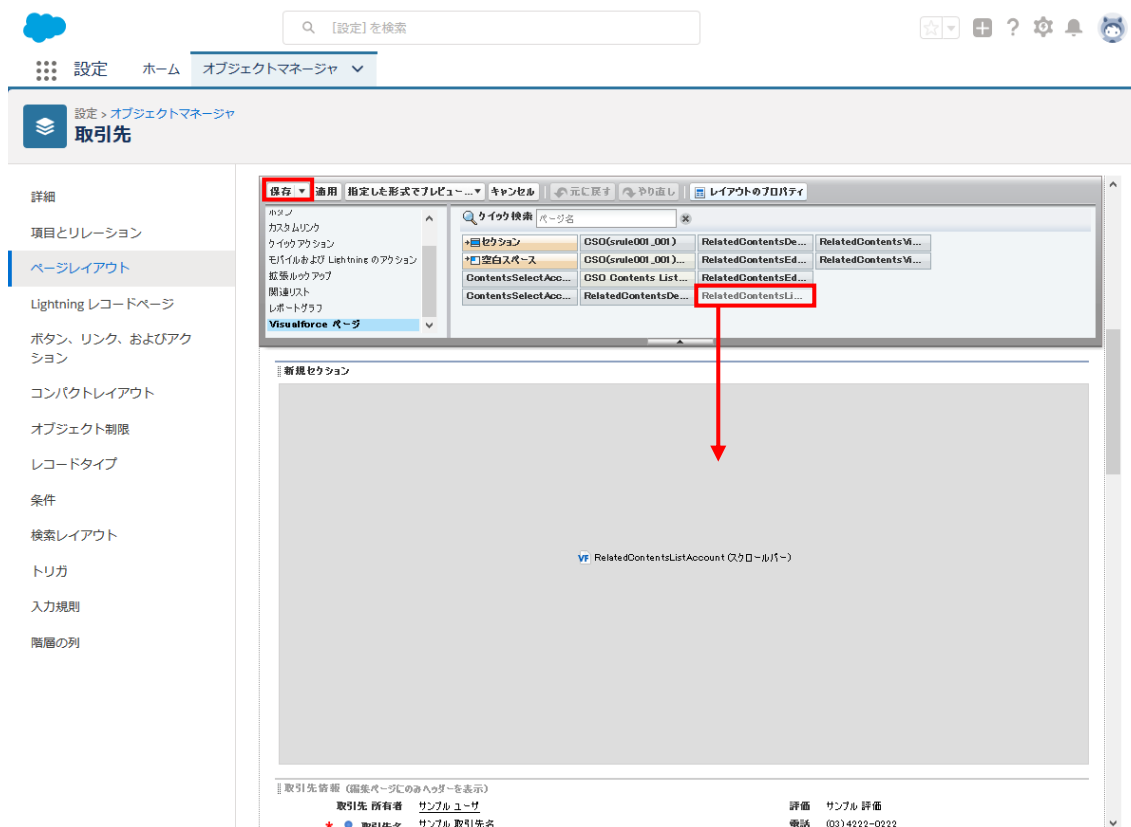
左側のメニューより「ページレイアウト」を選択し、割り当てられているページレイアウトを開き編集します。

図 3-3



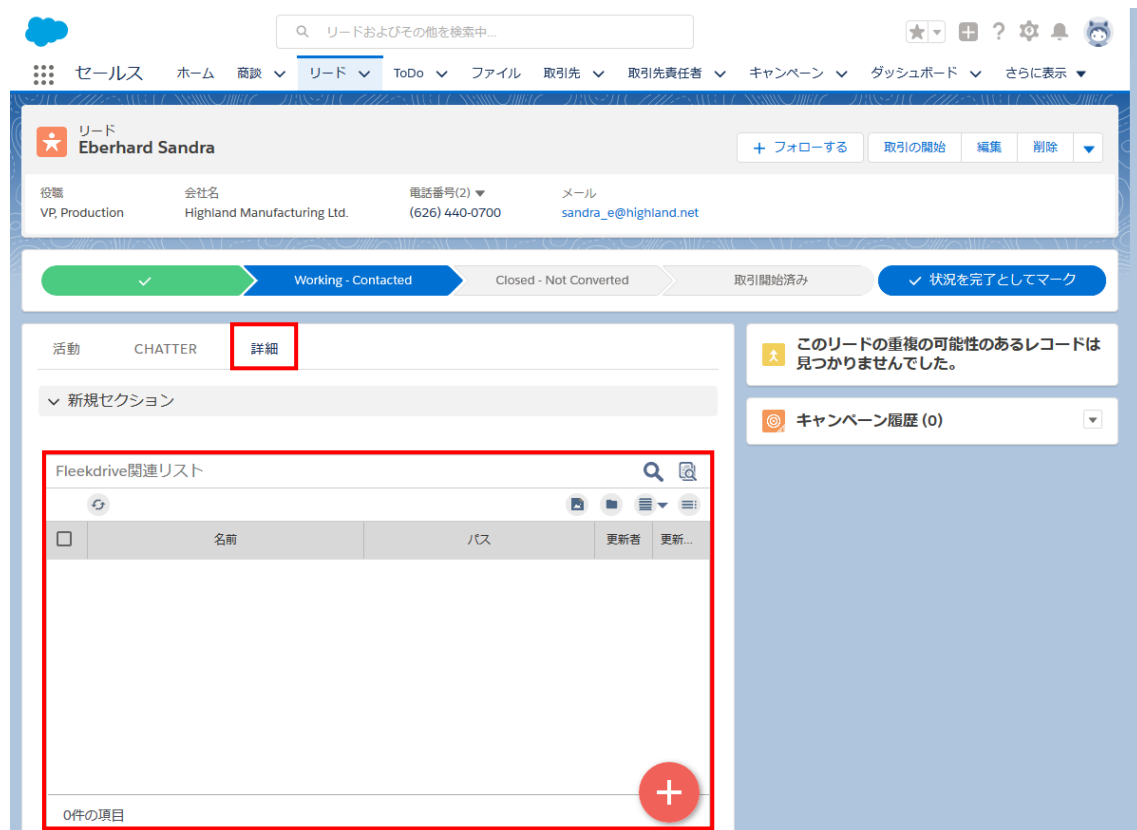
ページレイアウトの編集画面が開きますので、Visualforce ページの項目から「RelatedContentsListAccount」をドラッグ & ドロップで配置し、編集画面左上の「保存」ボタンから保存します。

図 3-4



設定したオブジェクトのレコードを開くと、「詳細」タブに Fleekdrive 関連リストが配置されています。機能は Classic と同様にお使いいただけます。

図 3-5

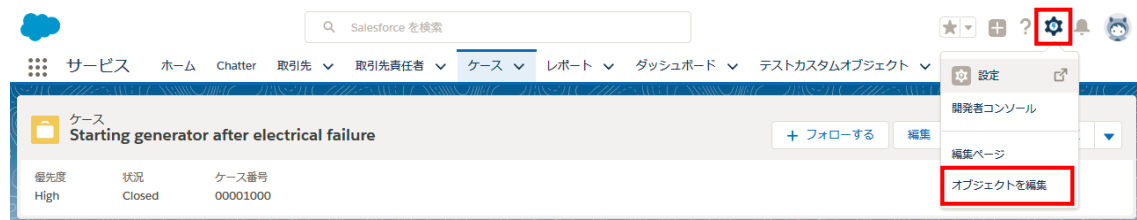


3.2 Fleekdrive 関連リストの配置場所が狭い場合

Fleekdrive 関連リストを配置した際、オブジェクトによっては配置場所が狭い場所になる場合があります。この場合、画面崩れが発生するため、以下手順に沿ってオブジェクトのページレイアウトを変更の上ご利用ください。

ページレイアウトを編集したいオブジェクトを開いた状態で、画面右上の設定メニューより、「オブジェクトを編集」をクリックします。

図 3-6



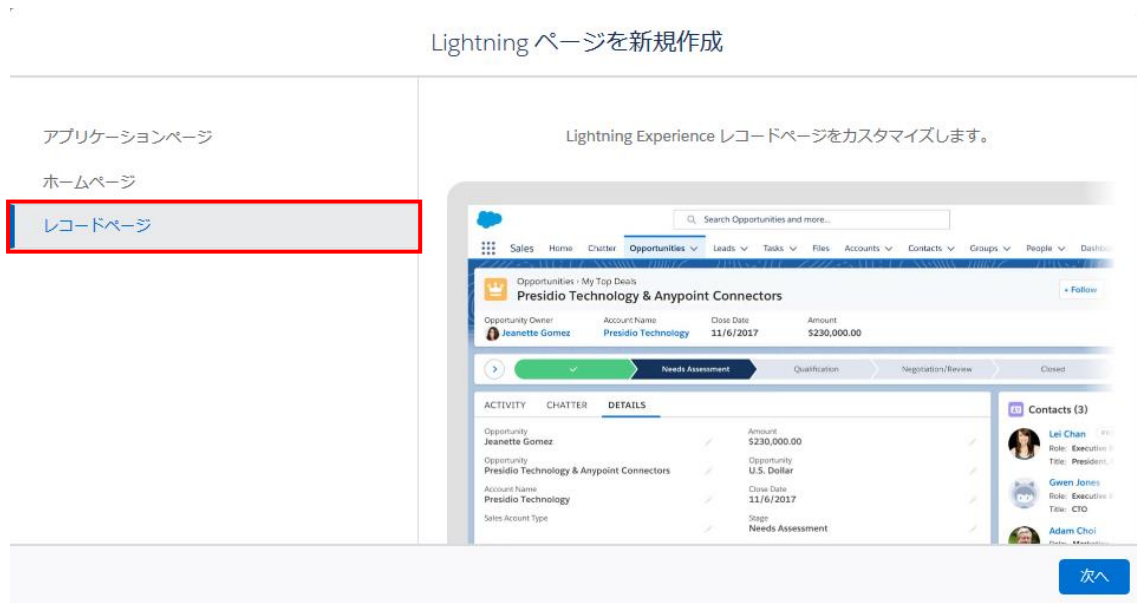
左側のメニューより「Lightning レコードページ」を選択し、「新規」ボタンをクリックします。

図 3-7



「Lightning ページを新規作成」画面が開きますので、左側のメニューの「レコードページ」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。

図 3-8



「表示ラベル」に任意の名前を入力し、「オブジェクト」は今回ページレイアウトを変更するオブジェ

クトを選択し、「次へ」ボタンをクリックします。

図 3-9

Lightning ページを新規作成

•表示ラベル
ケースのカスタマイズ

•オブジェクト
ケース ▼

戻る 次へ

「SALESFORCE のデフォルトページをコピー」タブを選択し、左側のメニューにある「デフォルトのオブジェクトレコードページ」をクリックし、「完了」ボタンを押してください。

※「デフォルトのオブジェクトレコードページ」の“オブジェクト”には今回変更するオブジェクト名が入ります。

図 3-10

Lightning ページを新規作成

ページテンプレートを選択

SALESFORCE のデフォルトページをコピー

デフォルトのケースレコードページ

Lightning コンソールのケースレコードページ

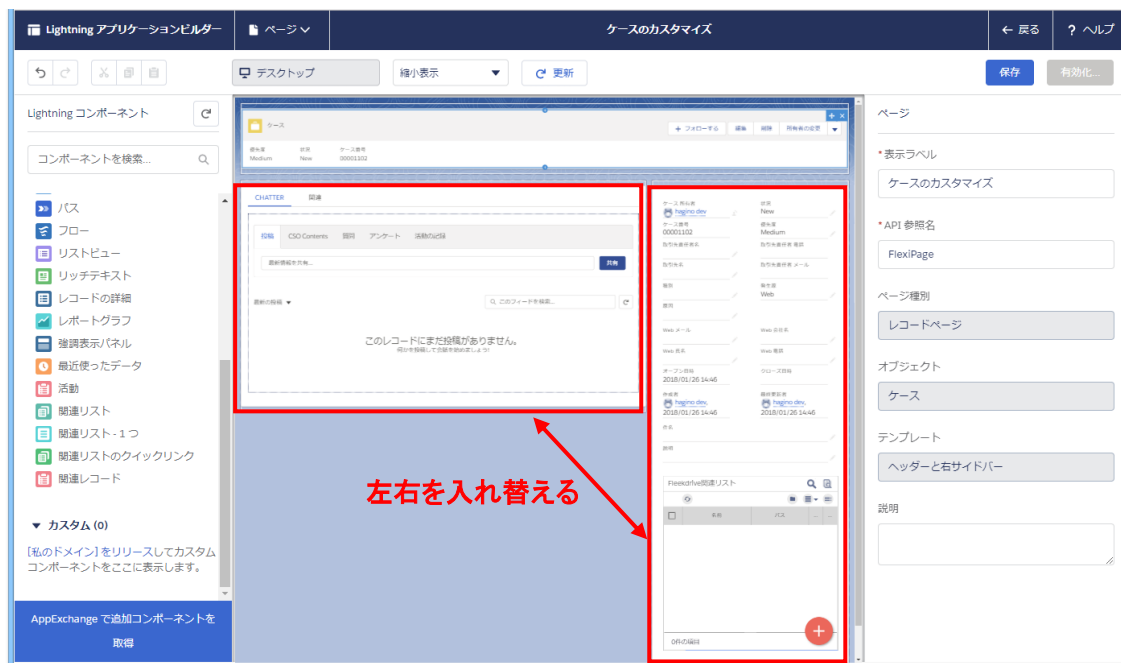
ヘッダー領域に[強調表示/パネル]、メイン領域に[プレビュー]と[レコードの詳細]が含まれる、標準のレコードページテンプレート。

戻る 完了

オブジェクトのカスタマイズページが開きます。

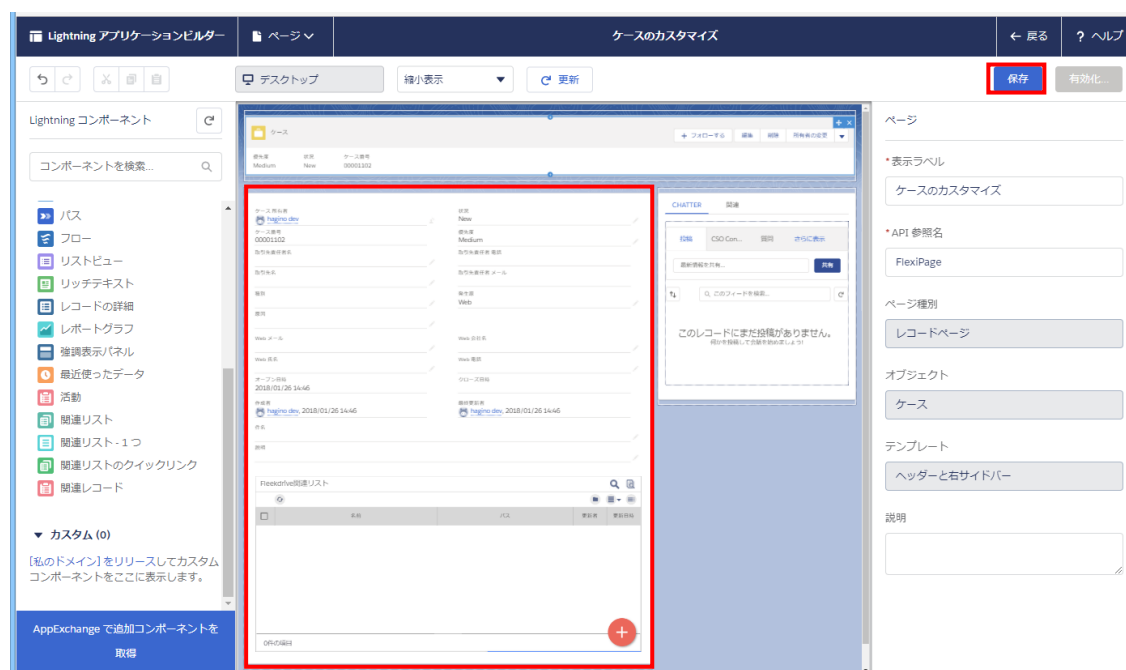
Fleekdrive 関連リストが配置されている狭いブロックと広いブロックをドラッグ & ドロップで左右入れ替えます。

図 3-11



入れ替えが完了したら画面右上の「保存」ボタンをクリックします。

図 3-12



「有効化」ボタンをクリックし、保存したページを有効化します。

図 3-13



「組織のデフォルトとして割り当て」をクリックし、「完了」ボタンを押します。

図 3-14



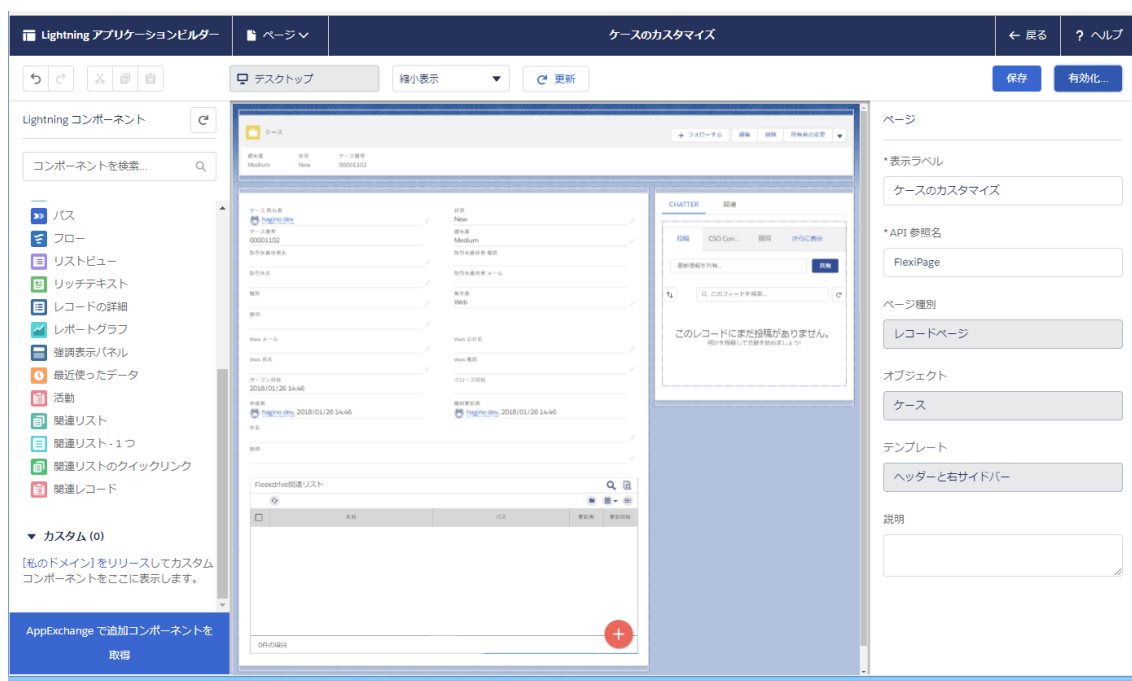
割り当ての確認を行い、「保存」ボタンをクリックし、保存します。

図 3-15



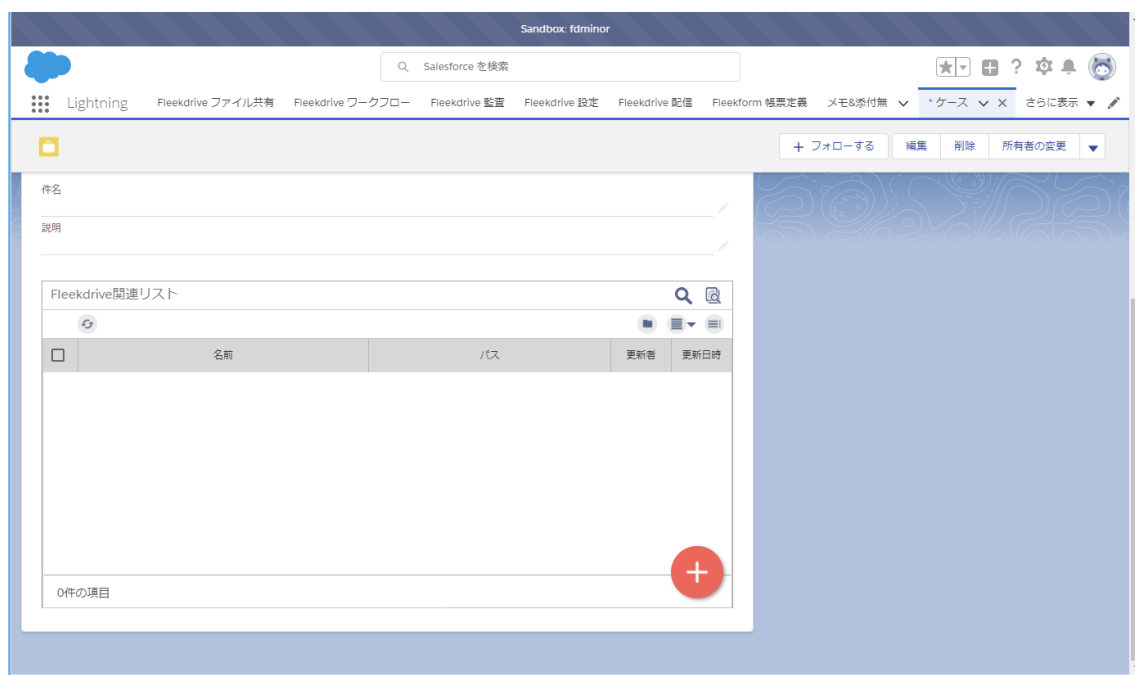
ケースのカスタマイズ画面に戻りますので、画面右上の「←戻る」をクリックし完了です。

図 3-16



対象のオブジェクトレコードを確認すると、広い範囲に Fleekdrive 関連リストが配置されていることを確認できます。

図 3-17



改訂履歴

改訂日	版数	改訂内容	改訂理由
2017/12/28	第 1 版	新規作成	新規作成
2018/02/07	第 2 版	追加	3.2Fleekdrive 関連リストの配置場所が狭い場合を追加

Salesforce Lightning Experience 対応のご案内

2018 年 2 月 7 日 第 2 版

株式会社ソルクシーズ

東京都港区芝5-33-7

TEL : 03-6722-5015

<https://www.fleekdrive.com/>

Copyright (C) 2017 SOLXYZ Corporation. All Rights Reserved.